

SABO NEWS LETTER

第 146 号【発行日】令和 3(2021)年 6 月 15 日(火)【発行】(一社)全国治水砂防協会

目 次

1.	目 次・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	国土交通省砂防部長よりご挨拶・・・・・・・・	2
3.	(一社)全国治水砂防協会理事長 挨拶・・・・・・・・	3
4.	国土交通省提供資料・・・・・・・・	4

ご質問、ご意見、ご感想、記事の詳細内容等、お問合せ先

一般社団法人 全国治水砂防協会

住所：〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4

電話：03-3261-8386 FAX：03-3261-5449 E-mail：kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください。

<http://www.sabo.or.jp/>

国土交通省 砂防部長よりご挨拶 (梅雨期の備え)

6月 は土砂災害防止月間です。既に危険箇所の点検、パネル展示会など各地での取り組みを報告頂いています。中でも子供たちに土砂災害に関する絵画・作文を全国的に募集しており、各県とも幅広く募られ毎年優秀作品を選定して頂いています。中央審査会において全国から集まった作品の中から優秀賞を選定し受賞した生徒さんたちを表彰します。中でも絵画の最優秀賞はその年の土砂災害防止月間のポスターに選定されることが多く、広く国民の皆さんの目に留まることとなります。今年の中学生の最優秀賞(茨城県守谷市立御所ヶ丘中学校 1年:後藤佑太さん)に選定された作品は砂防堰堤を描いており、審査員からは「ダイナミズムを感じさせながら安心へと誘導する※」と評価されました。施設を描いた最優秀賞は久しぶりとなり、月間のポスターにも採用されました。

「事前防災」が功奏し砂防施設が人命、財産が守られたとの報告は毎年多数あるものの、子供たちの目にもその施設が映り、最優秀賞となって、皆さんの目に留まることになったのは、私としても大変うれしくまた感激であります。地域でご活躍されている建設事業者の方々にも是非ともこの作品(ポスター)を見ていただき、子供たちの目にも着実に地域が安全となっていると映っていることを、誇りに思っていたきたく存じます。

さて、早々に梅雨入りした地域があるものの、これからが全国的に梅雨本番となり、梅雨末期には集中豪雨の経験も数多くあります。前号でお知らせしたとおり、今般、法改正により避難に対する発令が「避難指示」に一本化されました。梅雨入りとともに豪雨に見舞われた九州地方において既に各自治体においてスムーズに「指示」が出されたとの報道がありました。

「避難指示」に際して、土砂災害に対する理解は、日頃より住民自身がどう行動すべきか考えるきっかけになると思います。砂防部としては、市町村のみならず、住民の方々に「避難指示」等に関する理解を深めてもらう取り組みを実施してきています。

今般、別添の資料を作成し砂防部 HP に載せております。自治体の「知らせる努力」と住民の「知る努力」の相乗効果・相互理解のもと、土砂災害による犠牲者が無くなるよう引き続き理解を深めていただくための支援を行って参ります。各地域での工夫や、お気づき点などあればお寄せいただければありがたいです。

国土交通省 砂防部長 今井 一之

※講評の詳細は、「砂防と治水:261号掲載予定」

(一社) 全国治水砂防協会理事長 挨拶

会員の皆様へ

まだ6月というのに東京では厳しい暑さが続いております。全国各地でも30度を超えており、今年も暑い夏になりそうな気配です。皆様におかれましてはお変わりございませんでしょうか。

さて、5月27日に当協会の通常総会が、昨年と同様に規模を縮小した形式で開催され、無事に終了いたしました。ご協力いただきありがとうございました。感謝申し上げます。役員も改選となりました。引き続き協会活動にしっかりと取り組んでまいります所存ですので、どうかよろしくお願い申し上げます。

6月は土砂災害防止月間です。砂防会館の最寄り駅であります地下鉄永田町の4番出口に続く地下通路にも土砂災害防止月間のポスターが張り出されています。今回寄稿いただきました今井砂防部長の挨拶文にも詳しく書かれておりますが、中学生、小学生の素晴らしい絵画・ポスターの優秀作品を掲載しているポスターです。是非ご覧いただき、ご活用いただければと思います。「迷わない 早めのひなん」「あ！ここにあった 私たちの安心！」ポスターの中の言葉です。この季節、今一度噛みしめたい言葉です。

近年、豪雨災害がいつどこで起こってもおかしくない環境になりました。皆で緊張感をもって過ごしたいと思います。今年6月から気象庁では線状降水帯に関する情報提供も新たに行われています。それに先立ち5月20日からは避難勧告・避難指示も避難指示に一本化されました。年々進化する防災気象情報も的確に活用していく必要があり、学ぶことが増えております。皆で頑張って取り組んでまいりましょう。当協会も会員の皆様を精一杯支援させていただきます。

時節柄、どうかご自愛くださいますように。

令和3年6月15日

一般社団法人 全国治水砂防協会
理事長 大野宏之

みんなであつた防ぎつた土砂災害



令和2年度 土砂災害防止に関する絵画コンクール
中学生の部 最優秀賞(国土交通大臣賞)
茨城県守谷市立御所ヶ丘中学校1年
後藤佑太さん



令和2年度 土砂災害防止に関する絵画コンクール
小学生の部 最優秀賞(国土交通大臣賞)
石川県七尾市立和倉小学校6年
出崎絢菜さん



令和2年7月豪雨によって
発生したけが崩れ



土砂災害から身を守る3つのポイント
あなたも危険な場所にお住まいかも



令和2年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」入賞作品
土砂災害の怖さがいろんな形で表現されています。

主催 国土交通省・都道府県

【後援】内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人全国治水砂防協会、一般財団法人砂防・地すべり技術センター、一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構、(NPO)土砂災害防止広報センター、全国地すべりがけ崩れ対策協議会、一般社団法人斜面防災対策技術協会、一般社団法人建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会



土砂災害防止月間

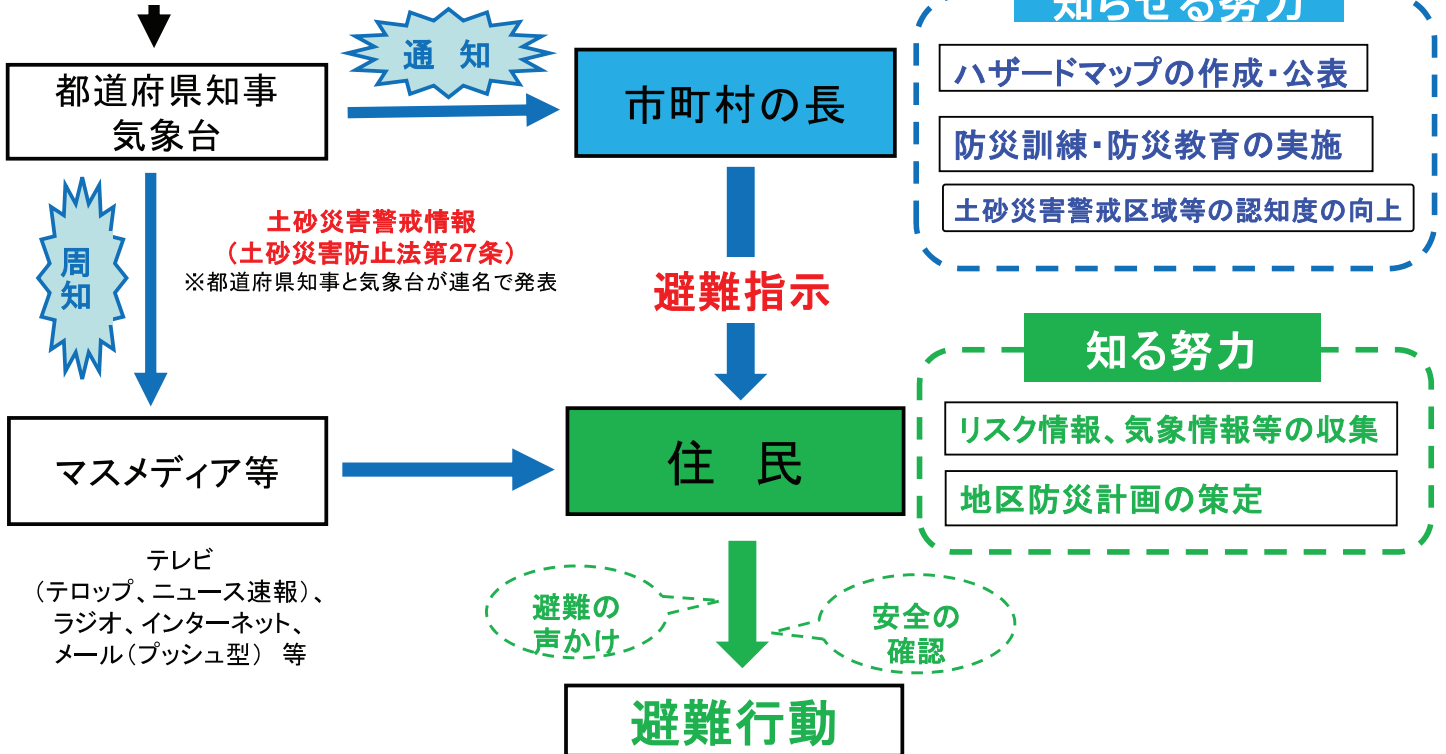
がけ崩れ防災週間 6/1→7

6/1→30

住民避難に向けて

都道府県知事（土砂災害の急迫した危険が予想される降雨量（危険降雨量）を事前に設定）

降雨量が危険降雨量に達したとき



住民避難に向けて（知らせる努力）

知らせる努力（市町村等→住民）

【ハザードマップの作成・公表】

ハザードマップを作成し公表することで、土砂災害に対する住民の関心・理解及び危機意識を向上させる



【防災訓練・防災教育】

住民参加型の防災訓練の実施やパンフレットの作成を通じて、土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識を向上させる

安否確認訓練状況



長野県飯田市

避難所への移動訓練実施状況



広島県江田島市

令和元年「土砂災害・全国防災訓練」(R1.6.2より)

【土砂災害警戒区域等の認知度の向上】

普段の生活の中で人目に付く箇所に標識、看板を設置することで、土砂災害に対する認知度を向上



岐阜県



新潟県

防災知識普及のための媒体



副読本



パンフレット

住民避難に向けて(知る努力)

知る努力(住民)

【防災教育・講習会への参加】

自治体等が実施する防災教育・講習会に参加し積極的に、参加し、土砂災害の恐ろしさ等を学ぶ努力。



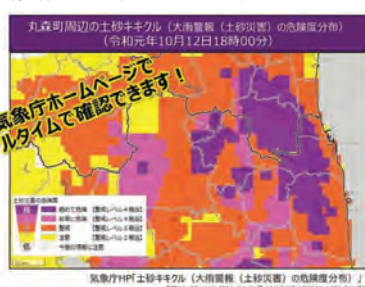
【防災訓練への参加】

住民参加型の防災訓練の実施やハザードマップを通じて避難ルート・移動手段・時間等を事前に確認する努力。



【気象情報の収集】

各種メディアから防災に関する情報を収集するなど、自ら避難を判断するための情報を収集する努力。



【地区防災計画、ハザードマップの作成】

住民等が自主的に地区の防災計画(素案)を策定し、市町村へ提案する。避難時の周辺の危険性を知る努力。



住民避難に向けて(地区防災計画の作成事例)

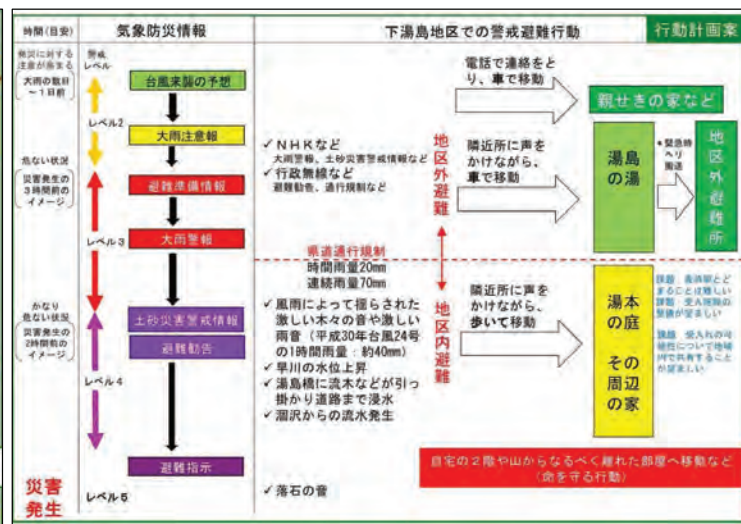
知る努力(住民)

住民等が自主的に地区の防災計画(素案)を策定し、市町村へ提案する。地区住民自らが、避難先・避難時のルール等を事前に取り決め、非常時に何をなすべきか考え、要配慮者等へ声かけし、避難が出来る体制を構築する。

作成事例(山梨県早川町下湯島地区)



防災マップの作成



避難行動計画の作成

住民避難に向けて(市町村、住民相互の連携事例)

知らせる努力(市町村等→住民)



知る努力(住民)

土砂災害HM等を活用した地域防災力向上のための取組【大分県】

【主な内容(県・市町村合同の取組)】

○土砂災害から命を守る避難行動につなげるために、行政と住民が一体となって取り組む行動計画を整理した「土砂災害避難促進アクションプログラム」を平成31年3月に策定。

○アクションプログラムのうち『地域の防災リテラシーの向上』のための取り組みとして、土砂災害専門家(砂防ボランティア)を派遣し、防災講座の開催や土砂災害ハザードマップの再点検及びタイムラインの作成、それらを活用した避難訓練を支援。

【取組した結果やわかった課題等】

○他のハザード(地震・津波・浸水など)を踏まえ、関係部局との役割分担や連携が課題。

「住民主体」で地域のリスクや課題、行動計画を整理

・危険箇所、避難経路の把握



R1.6.25 津久見市

ハザードマップ再点検

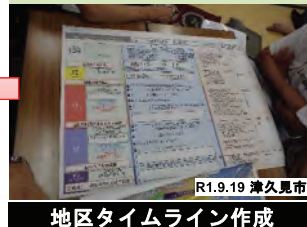
・危険箇所、避難経路の現地確認



R1.9.29 日田市

まち歩き

・時系列で整理した行動計画を作成



R1.9.19 津久見市

地区タイムライン作成

地域の実情に応じた訓練

・避難行動要支援者の避難誘導等



R1.11.10 津久見市

避難訓練

▲土砂災害専門家(砂防ボランティア)を派遣し、住民・市町村を支援

全国各地での砂防の取り組み

土砂災害に関する防災教育



土砂災害のおそれのある危険箇所の点検



土砂災害に関する教材の作成



土砂災害に関する地区防災マップの作成

